

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 156	提案機関名 神奈川県畜産会養鶏部会
要望問題名 赤玉鶏の卵殻色退色抑制技術について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 県内の養鶏は直販を主としているため都市養鶏は赤玉鶏が多く、羽数も毎年増加しています。 しかし、赤玉鶏は卵殻色の退色は避けられない要件で、鶏種により異なり、ロットの中でも差があるので、品揃えに労力を投下する必要があります。この退色の要因として、加齢、鶏種、飼養管理、環境飼養、病気等種々の要因が関与しています。 この対策として最近微量元素が考えられています。また、各条件による色のバラツキは飼養条件に依っても起こるので鶏種、環境飼養条件、微量元素等々最近は多くの条件から解決方法が見られます。先進的な考えによる卵殻色の改善を考えて欲しい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 採卵鶏の経済性と飼養環境適合性調査 (H26～27)			
対応の内容等 ご指摘のとおり、赤玉卵と言われる褐色卵の卵殻色は加齢により退色することが知られており、飼養環境、鶏種、疾病等の要因も関与しています。退色防止技術としては、強制換羽により一時的な回復が期待できる ¹⁾ 、無窓鶏舎での飼育、開放鶏舎では、寒冷紗等による遮光や集卵回数を増やす等の対策が有効である ²⁾ という報告があります。 当所では、26年度え付け鶏を用いて、「採卵鶏の経済性と飼養環境適合性調査」を実施しています。ご要望のありました微量元素については、その中で有機ミネラルや生菌剤を配合した市販の卵質改善資材の添加効果試験を行い、褐色卵卵殻色退色抑制効果について検討します。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考 1) 日本飼養標準 家禽 (2011年版) 2) 「無窓鶏舎または遮光による褐色卵の生産」三重県公設試験研究機関研究成果等データベース			